

理科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	「水草についてのレクチャー＆観察」		
日時	令和8年7月31日(金)		
会場	サッポロさとらんど		
講師	山崎 真実 氏 (札幌市博物館活動センター 学芸員)		
参加者	27名		
研修会 の 様子		まず、講師の山崎氏から、水草についてのレクチャーをしていただきました。身近な食材であるレンコン(ハス)は水草であること、「水草」という呼び方は水中生活に適応した植物の総称であること等、普段あまり考えることのない水草についてわかりやすく教えていただきました。また、小学校で学習する植物は「水の通り道」が存在することを学習するのに対し、水草は「空気の通り道」や「空気を蓄えておく部分」が存在する等、興味深いお話もしていただきました。	
		次に、施設の外にある池の周辺で水草の観察を行いました。講師が池から採取してきた植物を、参加者が自由に見たり、触ったり、割ったりしながら、見識を深めていくことができました。中でも、「タヌキモ」は水中の生き物を捕食する食虫植物であり、顕微鏡で観察した参加者からは驚きの声も聞かれました。	
		参加者には、子どもも10名程度参加していましたが、タヌキモやガマ等の水草に触れて、楽しそうに参加していたのが印象的でした。水辺の生き物も同時に採取することができ、関心の幅を広げている様子も見られました。安全面への配慮から参加者は池の中に入ることはできませんでしたが、観察だけでも十分に楽しむことができました。	
		最後に、講師の山崎氏からお話をいただいてフィールドワークを終了しました。水草について研究されている方は、山崎氏を含めて北海道で2名しかいないということもあり、終了後も参加者が様々な質問をする場となりました。有意義な活動になったことが伺えました。	